

# 令和7年度定時総会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

I. 日 時 令和7年6月14日（土曜日）午後1時～午後4時

II. 場 所 TOCビル13階 第一会議室（東京都品川区西五反田7-22-17）  
オンライン（Zoom）併用

## III. 総 会

出席理事：三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、埴岡 隆、  
安枝 和子、久保 克敏、安西 浩哉、近藤 聡史、箸本 明雄、  
柿田 亜矢子、高瀬 美保、桜木 由美子、小野 真由美、福島 雄裕、  
西田 美和子、（計16名）

出席監事：花野 信子、清水 美音子 （計2名）

### 1. 開会宣言

午後1時00分、多氣 洋平 専務理事が開会を宣言した。

### 2. 開会挨拶

三須 和泰 会長より挨拶があった。

### 3. 国体開催地挨拶

本年度開催の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」米原市実行委員会 副会長であり、滋賀  
県ホッケー協会 辻村 克 会長が挨拶された。

### 4. メッセージ披露

多氣 洋平 専務理事より日本ホッケー協会顧問、佐藤 正久 参議院議員か  
らのメッセージの代読を行った。

### 5. 黙 禱

5月に逝去された前愛知ホッケー協会代表理事で正会員であった大橋 俊彦  
様のご冥福をお祈りし、黙禱をささげた。

## 6. 日本スポーツグランプリ受賞の紹介

6月4日に公益財団法人日本スポーツ協会から、長年にわたりスポーツを  
実践するとともに広く国民に感動や勇気を与え、顕著な功績をあげられ  
た中高年齢層の個人・グループを対象とした表彰「第20回日本スポーツ  
グランプリ」に、ホッケー界から下村 尚 様が選ばれたことが紹介された。

## 7. 議長選出

東京都 市川 明 正会員より東京都 三須 和泰 正会員の推薦があった。  
他に推薦はなく、拍手をもって東京都 三須 和泰 正会員が議長に選出さ  
れた。

## 8. 定足数

坂本 幼樹 事務局長より、本日の本人出席者数は36名、委任状提出者数  
は21名、議決権行使書提出者数は37名の合計94名であり、正会員(社  
員)数103名のうち過半数の出席を得て定款第17条に基づき本総会は  
成立した旨が報告された。

## 9. 議事録作成人と議事録署名人の指名

議長が議事録作成人に鈴木 誠 事務局次長を指名した。また、議事録署名  
人に、議長の他、広島県 田村 洋二 正会員、奈良県 花谷 真 正会員を指  
名した。

## 10. 審議事項

議長より、昨年度までは審議事項とされていた事業報告を定款47条に基  
き報告事項とするが、例年通り決算審議に先立ち事業報告を実施する旨  
の説明があった。

また、本総会の運営方法として、予定されている全2議案を一括で説明  
し、そののちに質疑応答を行ってから議案の採決を行う旨の案内があっ  
た。報告事項についても同様に、全ての報告事項の説明を終えてから一  
括して質疑応答を行う旨の案内があった。

### (1) 令和6年度 事業報告

議長より指名された多氣 洋平 専務理事、永井 祐司 強化育成本部長、近  
藤 聡史 事業本部長、安西 浩哉 コーポレート本部長、坂本 幼樹 事務局  
長より、各本部・委員会・事務局の事業報告について投影された資料に基  
づき説明を行なった。

(2) 第1号議案 令和6年度 日本ホッケー協会決算報告の件

議長より指名された 清水 美音子 監事が、配付されている資料に基づき、監事による監査の結果と決算が適正に行われている旨を報告した。  
続いて、福島 雄裕理事・財務総括部長が配付されている資料および投影された資料に基づき説明を行なった。

(3) 第2号議案 定款改正の件

議長より指名された多氣 洋平 専務理事が配付されている資料に基づき説明を行なった。

(4) 質疑応答

議長が2件の議案に関して質疑を呼びかけたところ、秋田県 佐藤 正一郎 正会員から第1号議案に関し決算報告書の附属明細書の中、特定資産計の金額に誤りがあるのではないかとの質問があった。これに対し、福島 雄裕理事・財務総括部長から特定資産の合計額の脱字を訂正し修正版を配布する旨、回答が行われた。

また、埼玉県 坂本 実 正会員から大井ホッケー競技場について、利用実績と今後の推移、利用促進、維持・活用のための取り組み、大井ホッケー競技場における大会、特に高校生以下の全国大会について開催助成金の質問があった。これに対し、多氣 洋平 専務理事から、年間利用日数の目標を約120日とすること、国際大会の誘致を積極的に検討すること、民間の補助金や企業協賛の可能性を探るとの回答があった。

(5) 採決

議長より採決に移るとの案内があり、参加過半数の拍手により承認された。

第1号議案の承認を求めたところ、出席者による賛成57名、議決権行使による賛成33名、合計90名の賛成により出席した正会員の過半数をもって承認された。

第2号議案の承認を求めたところ、出席者による賛成56名、議決権行使による賛成37名の合計93名の賛成により総正会員の3分の2以上の多数をもって承認された。

## 11. 報告事項

- (1) 令和7年度 事業計画について、多氣 洋平 専務理事が投影された資料に基づき報告した。
- (2) 令和7年度収支予算（修正当初予算）、資金調達及び設備投資の見込について、福島裕雄理事・財務総括部長が配付および投影された資料に基づき報告した。
- (3) 日本代表チームの活動状況について、高橋 章 さくらジャパン ヘッドコーチ、厚川 俊也ハイパフォーマンスアシスタントディレクターが投影された資料に基づき報告した。
- (4) 議長が報告事項に関して質疑を呼びかけたが質問・意見等はなかった。

## 12. 閉会宣言

議長は以上をもって本日の議事が終了した旨を述べ、午後4時00分に閉会を宣言した。

## 13. 閉会挨拶

北野副会長から、閉会の辞が伝えられた。